

第24回 国分川調節池を育む会

日時：平成27年11月1日(日)

10時00分～

場所：曾谷公民館

第1、第2研修室

次 第

1. あいさつ

2. 全体会

- (1) 平成27年9月9日～10日の大雨について (千葉県)
- (2) 今年度の工事について (県) (千葉県)
- (3) 今年度の植栽工事について (市) (市川市)
- (4) ピッチャーマウンドの設置について (市川市)
- (5) 自然観察会について (市川市)
- (6) 下池散策・休息ゾーンの設計について (市川市)

3. 設計検討の視点及び留意点について

(千葉大学大学院園芸学研究科 近江慶光氏)

4. 検討部会による検討

検討部会による意見集約

5. 全体会

検討部会からの発表

<資料>

- 1. 育む会での自然観察会の企画について
- 2. 国分川調節池緑地(下池広場)上部活用整備 計画平面図(案)

事務局(市川市役所 公園緑地課)

TEL: 047-712-6366(直通)

FAX: 047-712-6365

メール: midoriseibi2@city.ichikawa.chiba.jp

国分川調節池整備方針

○国分川調節池整備テーマ

人と生き物の輝く池を次の世代に手渡そう！

○整備基本方針

1) 地域を洪水の被害から守り、治水に対する理解を深める

- ・洪水の危険から地域を守る治水機能を確保する。
- ・日常の利用により、治水の重要性を知り、興味を育む場、一人ひとりの取り組みかたを知る場とする。

2) ふるさとの自然を復元し、子どもたちや次の世代へと伝える

- ・自然ネットワークの大拠点となる豊かな自然を復元する。
- ・さまざまな生き物を育む、多様な環境を復元する。
- ・川の水質改善など、自然のもつ機能を発揮させる

3) 人と人、人と自然のふれあいを育む

- ・子どもたちが、ふるさとの自然と自由にふれあえる場とする。
- ・懐かしさを感じる風景の中で、穏やかに過ごすことのできる場とする。
- ・子どもから高齢者等まで、世代を越えた様々な人々の交流の場とする。

4) 緑豊かな木々に彩られた、雄大で多様な水辺の風景をつくる

- ・市川の原風景を感じる場とする。
- ・周辺から見える緑を増やし、住環境の向上に役立てる。
- ・自然と調和する施設整備を行う。

5) イベントや運営への参加を通じて、国分川調節池への愛着を育む

- ・市民の知恵と経験を活かしつつ、市民と行政のパートナーシップに基づく管理を行う。
- ・管理費用の抑制に配慮した整備を行う。

育む会での自然観察会の企画について

前回（第 23 回）の育む会で出た案

〈プラン〉

- ・生物採取
- ・ザリガニ釣り
- ・外来種の除去
- ・苗木集め
- ・野鳥観察
- ・解説看板の作成
- ・防犯パトロール
- ・天体観望 等

〈意見〉

- ・生物の調査活動をしてみてはどうか。
- ・育む会で子供を引率して観察会を行ってみてはどうか。
- ・イベントの企画グループを立ちあげてみてはどうか。



実施目的

- (1) 国分川調節池緑地で開催されるイベントへの参加を通じて、市民が調節池への愛着を育み、この地域に暮らしていることに誇りを感じられるようにする。
- (2) 参加者が将来にわたって自然環境を大切に考えるように促し、次世代を担う子どもたちが自然を体感できるようにする。
- (3) 自然とふれ合える機会を提供し、季節に合った自然環境を楽しんでもらう。

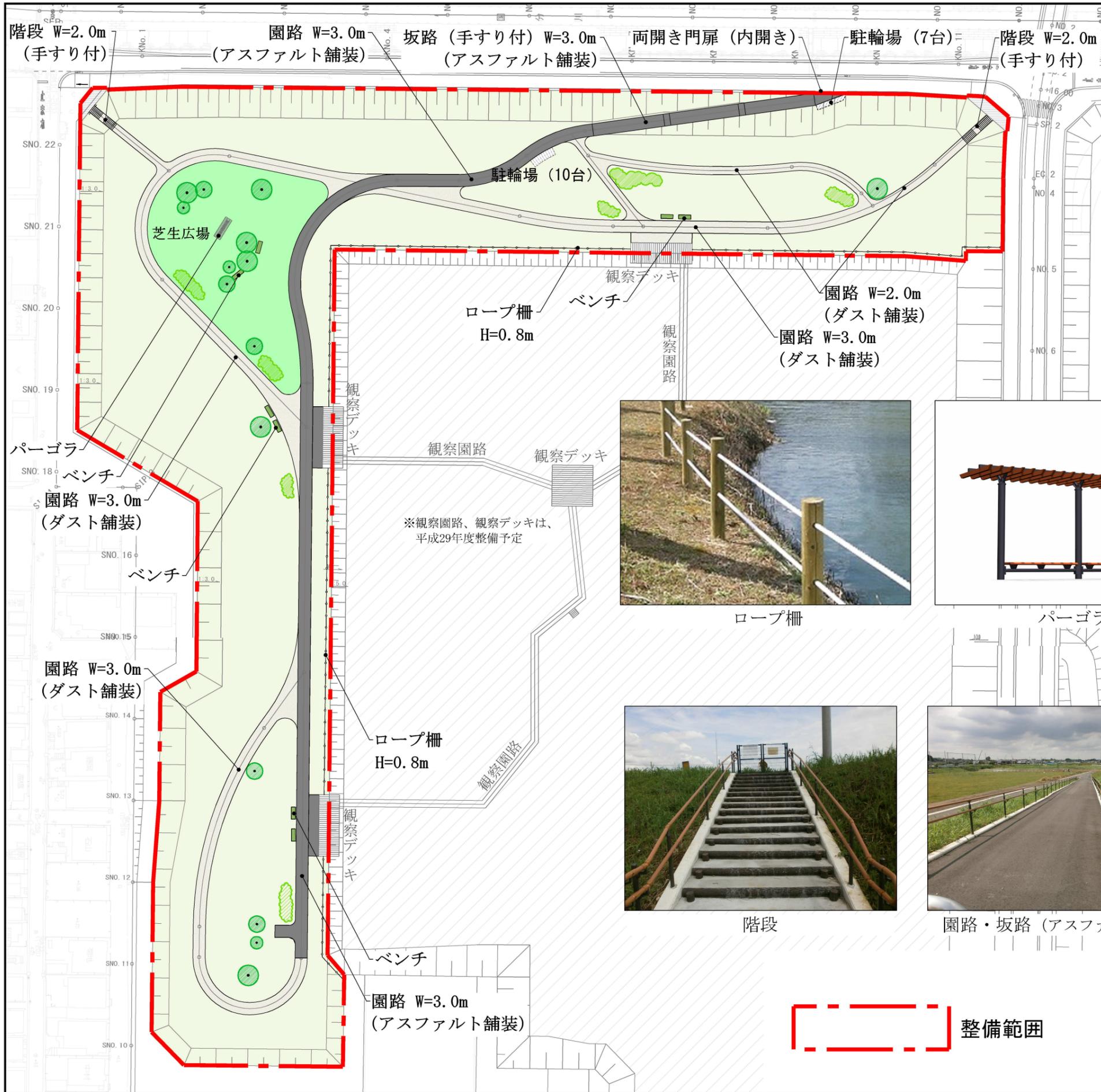
◎ 今後の方向性について（役員会での検討）

- (1) 内容や実施方法の検討（例：冬の鳥類観察会等）
- (2) 周知方法の検討（例：広報いちかわ等）
- (3) 利用のPR（例：NPO法人、学校等のPR）

◎ 参考 ～市の自然環境課・自然博物館での実施例～

- ・カニの観察会
- ・水鳥と川の観察会
- ・三番瀬観察会
- ・おやこ自然観察会
- ・野草名札付け
- ・季節を感じる散策会 等

国分川調節池緑地（下池広場）上部活用整備 計画平面図（案）



ロープ柵



パーゴラ



ベンチ



階段



園路・坂路 (アスファルト舗装)



芝生広場

整備範囲

S=1/1,000 (A3版)

